

## King of hobby DE JA1WOB 斉藤

アマチア無線は king of hobby (趣味の王様) と言われています、それは、アマチア無線を運用する為に無線従事者の資格と無線局の免許を必要とし、無線通信技術を趣味とするため、国境を越えた情報交換が出来る事や多く友が出来ることなど、多岐に渡る内容が理由かと思えます。

しかし、これらもインターネットや携帯電話の普及で、国家資格や局免許無しに、安価で安易に出来る様になりました。

これらが、Net 社会が無秩序となる要因となっている様に思えます。

インターネットを扱うコンピューターは無線局のコールサインと同等の ID を付与して、管理する必要があるのではないのでしょうか。

無差別に送られてくる、迷惑メールやウイルスメールには閉口してしまいます、私の場合も、JARL の転送メールは、迷惑メールが 90% でほとんど使いものになりません。

(現在は jarl からの転送を停止してます)

さて、趣味の話に戻って。

小学校も 3 年生位になると、自分で気にいった趣味が出てくる。

私の場合、趣味の始まりは鉄道模型でした、玩具の汽車や電車では無くより本物に近い鉄道模型を池袋の西武デパートで見たときは、感激したのを覚えています。

鉄道模型には、軌間が広いものから O ゲージ(32mm)、HO ゲージ(16.5mm)、N ゲージ(9mm)、Z ゲージ(6.5mm)があります。

私が、西武デパートで見たのは 3 線式の O ゲージで、1950 年代の少年達にとって憧れであり、これから鉄道模型に入門した人も多い。

小学生にとってその O ゲージの電気機関車や貨車やレールを揃えるのは、小遣いでは遥かに及びませんでしたし、親にねだっても無理だと思っていましたので、交通費を往復 10 円掛けてデパートに通い見る度に、物欲はつのるばかりでした。

そして、子供にとって年に 1 度小遣いが増えるお正月のお年玉で、憧れの O ゲージの貨車とレールを買う事が出来ました、但し一人では予算不足だったので、兄との共同出資で、3 線式レール 3 本と貨車の「トム」を購入しました。

(トムは無蓋貨車で砂や砂利や木材を運搬する)

親からは、「お年玉で無駄遣いするな」、と云われていたもので、購入して来た時は、コタ

ツの中にレールを敷いて兄と 2 人で貨車を動かしては、楽しみました。

(でも 2~3 日で見つかりました (笑))

電気機関車やコントロールボックスまでは手が回らず、貨車は手で動かすしか有りませんでした。重みのある貨車の走りに満足していました。

幼馴染のお兄さんが、電気機関車とコントロールボックスを持っている事を聞いて、自分の貨車とレールを持って遊びに行き、電気機関車に「トム」を繋げてもらい、大満足でした。

6 畳位の部屋に、レールを敷き詰めて、1 日走らせてもらいました、その時のモーターの焼けた匂いの心地良さは今でも覚えています。

東京タワーが完成した昭和 33 年頃の思い出です。

小学校 5、6 年頃になるとプラモデル製作を始めました、学校の帰りに道にある文房具屋さん、プラモデルの戦艦や戦闘機や戦車などがありました、また友達が見つけた模型屋さんに行き、品定めをしてました。

Oゲージと違いプラモデルは子供の小遣いでも手に入れる事は出来ましたが、プラカラーまでは入手出来ずに、プラモデル備え付けのシールを貼ってアクセントを付けるので精一杯でした。

戦艦武蔵や戦闘機の零戦、飛燕、隼、紫電改など第二次大戦で活躍した、旧日本の軍用機がカッコイイと思っていました、ドイツやアメリカなどのメッサーシュミットやムスタングやワイルドキャットやヘルキャットもありましたが、7 2 分 1 の日本の戦闘機を好んで作りました。

大人になってから、子供がガンダムプラモ作りを始めたので、一緒になって模型屋に通い空母信濃や戦艦大和などを作り、戦闘機は 4 8 分の 1 の零戦や飛燕をはじめ自衛隊のジェット練習機の T 1 など、子供より夢中で作りました。



戦艦大和

そして、プラカラーで綺麗に仕上げて満足していました。

小学校でのプラモデル製作の頃から、模型とラジオなどの雑誌で、模型情報を仕入れていました。

鉱石ラジオやゲルマニュームラジオや真空管式のO-V-1、3石TRラジオなどの記事もあり興味もありましたが、難しそうなので、私はHOゲージの製作記事を読みあさりしました。

そこから、汽車や電気機関車や貨車や電車の車両記号の知識を得ました。

汽車の場合は、最初のアルファベットは駆動軸の数を表します

B=2軸 C=3軸 D=4軸 E=5軸 F=6軸 G=7軸 H=8軸

次の2桁の数字は・・・

10～49(タンク機関車)

50～59(テンダ機関車)

60～62(従輪が2軸の軸重軽減型テンダ機関車)

つまりD51は4駆動軸の機関車となります

電車の場合は、すこし細かい分類になります。

#### I 分類

ク=制御車といえます。(運転台付)

モ=中間電動車 (つまり、モーターが車両)

クモ=制御車と中間電動車

サ=モーターもない、運転台もない。

#### II 分類

ハ=普通車

ロ=グリーン車

シ=食堂車

ネ=寝台車

ヤ=訓練車や職員用

#### III 分類

1～3=直流      4～6=交直流      7～9=交流

#### IV 分類

0～3=通勤型・近郊型電車    5～7=急行型電車

5, 8 = 特急型電車 9 = 実験用車両など、特殊な電車

最近の中央線新型車両は、クハ-E 233-105などと表示されていて、これは運転台付き車両となります。(EはJR-EASTのE、105は連番)

他にも、電気機関車のEDは4駆動軸やディーゼル機関はDDなどあり全てを紹介すると切りがありませんのでこの位にします。

模型とラジオに掲載されていた、中央線のクハ101のペーパーキットを作成し、ペーパーキットの図面を基にケント紙に彫刻刀で窓枠を空けて、オレンジのペイントをして、木製の板に、台車や床下器具を取り付け、屋根も木製の板に、タンタグラフやベンチレータを取り付けて、クハ101やモハ101を作成して、3両編成の中央線を作りました。



中央線 101 系 3 両編成



EB 電関と貨車

(昔の写真をデジカメで撮影し編集したので、ボケてます)

他にも、小田急線の通勤電車やレトロのクモハ73などをケント紙とバルサ材など使い作りました。中学時代の趣味はHOゲージでした。

高校生になり、友人との会話の中でオーディオやアマチア無線やエレキギターの話はありましたが、HOゲージの話は無く、なんとなくHOゲージから離れてしまいました。そして今度は、模型とラジオに掲載されていた、ゲルマニュームラジオを作る事になりました、材料はゴミとなったST管の5球スーパーからバリコンとアンテナコイルを取り外し、ゲルマニュームダイオードを仕入れてベニヤ板に取り付けました。

アンテナは10m位のアンテナ線を取り付けたので、クリスタルイヤホンだけでもガン聞こえました。

電池が不要なので、枕もとに置いて深夜放送を毎日の様に聞いていました。

これがキッカケとなり、BC帯の6AR5のワイアレスマイクやオーディオアンプなどを作り、アマチア無線家となりました。

また、当時流行のエレキギターが欲しかったのですが、高価なので安物のスチール弦のギターにギターマイクを取り付けて、自作の6AR5のAMPに繋げてエレキギターモードで楽しみました。

本物のエレキギターと違い、ただ音が大きいだけで良い音では無く、ガット弦に張替えて、フォークソングに切り替えました。

開局当時に入会していた、町田の無線クラブではフィールドデーコンテストの打上や忘年会にクラブ員が、余興をやる事になっていたなので、気の合うローカル4局とフォークグループを作り、集まっては練習したり個人パートの課題を与えられて、練習したりでなんとか、忘年会の余興は成功しました。

また、調子に乗ってメンバーの知合いの福祉施設に慰問に行った事がありました、今にして思えば、「バラが咲いた」、「花は何処へ行った」、「ドナドナ」、「いつまでもいつまでも」、の4曲位しかレパートリーが無く、また、へたくそな演奏なのに、大きな拍手を貰って気分良く帰った事を思い出します。

そして、そのころの移動運用には、リグ、アンテナ、食料の他にギターがいつもありました。

最近、FenderのアコースティックミニギターでMA-1を誕生日プレゼントでいただき、昔覚えたフォークソングや演歌などを弾いていますが、まだ指が柔らかいので、30分も弾いていると、指が痛くなります、指に蝨が出来てそれが柔らかくなると、長時間弾いても大丈夫になります。

また、移動運用にギターを持っていこうかな（笑）

私の King of hobby はアマチュア無線と電子工作だけでなく、プラモデルやHOゲージやギターなどです。

おわり